

復興支援への取組

平成28年12月17日



組織体制

平成23年7月1日 営業統括部地域事業支援室へ

復興支援チーム設置

本部 1名

釜石支店駐在 1名

(平成27年3月末まで駐在)

取組み内容

取組方針

「一日でも早く復旧するために、今何が必要か、何が出来なのか」を
念頭に訪問し、被災事業者の早期復旧を目指す

支援内容

借入以外での、事業再開に必要な備品、仕入先・販売先のマッチン
グ、補助金等申請支援を主体とした課題解決支援を実施

支援実績

- **事業再開に必要な備品、仕入先等のマッチング** **32件**
(パソコン提供、厨房機器、乾燥マツモ他)
- **グループ補助金申請支援** **5グループ、95社**
(グループ組成から申請、申請後の事業)
- **高度化スキーム申請支援** **23件**
(申請書作成、ヒアリング同席)
- **アドバイザー活用による課題解決支援** **41件**
(補助金申請、事業計画策定他)
- **ファンド等活用支援** **9件**
(三菱商事復興支援財団、復興特区利子補給他)

支援事例

水産加工業(岩手県沿岸部)

課題 海外への販路を拡大
地域資源を活用した、「三陸」のブランド化

支援内容

- 中小機構アドバイザーとの連携支援

海外展開支援事業「F／S支援事業」への申請支援

- 三菱商事復興支援財団との連携支援

建物のリノベーションによる、地域資源の高付加価値化を実現



宿泊業(岩手県沿岸部)

支援事例

課題 事業再開に向けた金融支援及び従業員への接遇指導

支援内容

- 高度化スキーム申請支援

申請書作成、ヒアリング同席

- 三菱商事復興支援財団との連携支援

高騰した建設費用への支援

- ミラサポ専門家活用による支援

オープンに向けた、従業員への接遇(マナー)指導実施



支援事例

販路拡大への支援

支援内容

- ・「地方創生『食の魅力』発見商談会」への出展とフォロー実施

中小機構アドバイザーとの連携による、出展事前説明会開催及び、商談会の
事前・事後フォローによる、課題解決に向けた取組

- ・ 主な実績

出展2年目に台湾の高級スーパーへの出品が決定

出展3年目に都内高級スーパーとの取引成立



今後の課題

- 小規模零細企業への支援

商談会後の交渉、補助金申請等

- 2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピックへの推進体制

日本人観光客の他、外国人観光客や選手への「言語表示」や「おもてなし」等、三陸全域が一体となった推進体制への取組が必要

- 復興需要（建設関連）終了後の事業構想

宿泊者減少、買い物客減少等への対策が必要

- 人口減少への対応（地方創生への取組）

商店街再建によるコミュニティーの形成



ご清聴ありがとうございました